

る縫合方法。(2)押え金の圧力の強弱、送り金の凸出の多少、送り金の位置による圧力差を知るためパネ秤により布が送り出される時の圧力差の測定。(3)ずれと布の伸びに相関があるかを見るためショッパー型引張試験機により伸びの測定。以上3方法の実験を16種の試料につき行った。

3. (1)試料の厚薄に拘らず表面が毛羽立っているもの凹凸の多いものはずれが多く、前後にずれのみでなく左右にもずれ。ずれは上の布が伸びるより下の布がいせこまれて起ることが多い。(2)ずれの多いものは概ね押え金の強弱、送り金の多少に拘らず布引抜力が大きい。上下2枚の布を同時に引抜くよりも下の布1枚を引抜く方が力を要するものが多く、また押え金の強弱、送り金の多少により布にかかる力に非常に差異のあることが分った。(3)布の伸びとずれとの関係も多少あるものようである。

8. ミシン縫いの際におこる布のずれについて

(第1報)

三重短大 橋本貴美子

川田 光子

1. ミシンによって布を縫い合わせる時、上下二枚の布が正しく縫い合わされず一方の布がずれて非常に縫い合わせに困難なことがある。また緯縞等は縞を揃えるのに苦心を要する。故に布のずれが起る原因を究明し、ずれを減少する方法の基礎的研究を目的とした。

2. (1)布によりずれの程度に差異があるかを知るため、ミシンの調子を一定とし外力を与えず自然前進によ